

# 平成25年度水産予算概算要求のポイント

総額1886億円（1832億円）

## 1 水産物の消費拡大と流通促進

- 川上（産地）から川下（消費地）までの流通過程の目詰まりを解消するため、販売ニーズや産地情報等の共有化、流通各段階への個別指導、加工機器整備等を支援【国産水産物流通促進事業 11億円（新規）】
- 輸出拡大を目指すため、水産物の陸揚げ・加工・流通過程において輸出先国のHACCP等基準を満たした施設の改修整備等を推進【水産業グローバル化総合対策（新規）25億円（非公）127億円（公共）：特別重点要求】

## 2 水産業・漁村の多面的機能の発揮

- 水産業・漁村の多面的機能（国境の監視など国民の生命・財産の保全、地球環境保全、漁村文化の継承等）の発揮のため、漁業者等が行う活動を支援【水産多面的機能発揮対策 30億円（新規）：特別重点要求】  
【離島漁業再生支援交付金 12億円（12億円）】

## 3 漁業者の経営安定対策の継続

- 漁業学校等の学生や、新規就業者の漁業現場での長期研修等を支援
- 燃油・配合飼料価格の高騰時の補填金交付
- 高性能漁船の導入等により漁船漁業の収益性等を高める取組を支援【新規漁業就業者総合支援事業 12億円（4億円）：特別重点要求】  
【資源管理・漁業所得補償対策 374億円（438億円）】  
（うち【漁業経営セーフティネット構築事業 35億円（19億円）】）  
【漁業構造改革総合対策事業 30億円（30億円）】

## 4 漁場環境の保全・再生の推進

- ウナギ資源の回復と安定供給を図るため、生息状況調査等を実施
- 赤潮の発生・増殖メカニズムの解明や防除技術の研究開発の実施【ウナギ対策関連事業 1.8億円（0.4億円）】  
【赤潮・貧酸素水塊対策推進事業 2.5億円（1.4億円）】

## 5 漁港・漁場・漁村の整備・活用

- 漁港・漁村の防災力強化対策や老朽化施設の長寿命化対策、流通拠点漁港における高度衛生管理対策、水産資源回復対策の推進【水産基盤整備事業 762億円（690億円）、うち特別重点・重点要求142億円】

## 6 東日本大震災からの復旧・復興

- 東日本大震災により甚大な被害を受けた水産業の早期復旧・復興のための所用の措置の実施と東海、東南海・南海地震等に備えた漁港の防災力強化対策の推進【東日本大震災復興特別会計＜復興庁計上分と農水省計上分を含む＞】